

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

「暮らし、ほんもの」津山市中心部のまちづくり

(第1回変更)

平 成 3 0 年 1 2 月

岡 山 県 津 山 市

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年12月14日

計画の名称	「暮らし、ほんもの」津山市中心部のまちづくり									
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）								重点配分対象の該当	
交付対象	津山市									
計画の目標	交流拠点など都市機能の強化による賑わいのまちづくり 目標1：県北の中心都市としての拠点性向上を目指したまちづくりを推進する。 目標2：誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進する。 目標3：津山の特色ある歴史遺産等を活かしたまちづくりを推進する。									
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,890	A	3,890	B	0	C	0	D	0
効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）										0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(H31末)	(H33末)
1	市民が暮らしやすいと感じられるまちを目指し、中心市街地への転入を促進し、人口の年間社会動態の増加を目指す。 人口社会動態（転入・転出）を住民基本台帳から把握する。	-6人／年	0人／年	10人／年
2	中心部の拠点性を向上し、多様な人々が往来し、日常的に集い賑わいが感じられるまちづくりを目指す。 定期観測している歩行者及び自転車（10地点）の1日当たりの通行量を把握する。	6812人／日	7300人／日	7800人／日
3	多くの市民や観光客が津山の歴史文化を気軽に感じられるまちづくりを目指す。 経年観測している歴史文化施設（9施設）の年間利用者数を把握する。	272493人／年	291000人／年	310000人／年
4	駅周辺の整備等による利便性・快適性の向上により、JR津山駅の乗降客の増加を目指す。 JR津山駅の乗降客数を把握する。	3962人／日	4100人／日	4250人／日

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	○	連携中核都市圏を含む	—

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	津山市	直接	津山市	—	—	津山市まちづくりパワー アップ地区都市再生整備 計画事業	地域生活基盤施設等 A＝1 4.1 ha	津山市	■	■	■	■	■	3,890	—	未策定
											小計						3,890		
											合計						3,890		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30			
配分額 (a)	140	289			
計画別流用増△減額 (b)	0	2			
交付額 (c=a+b)	140	291			
前年度からの繰越額 (d)	0	21			
支払済額 (e)	119	240			
翌年度繰越額 (f)	21	72			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称：「暮らし、ほんもの」津山市中心部のまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

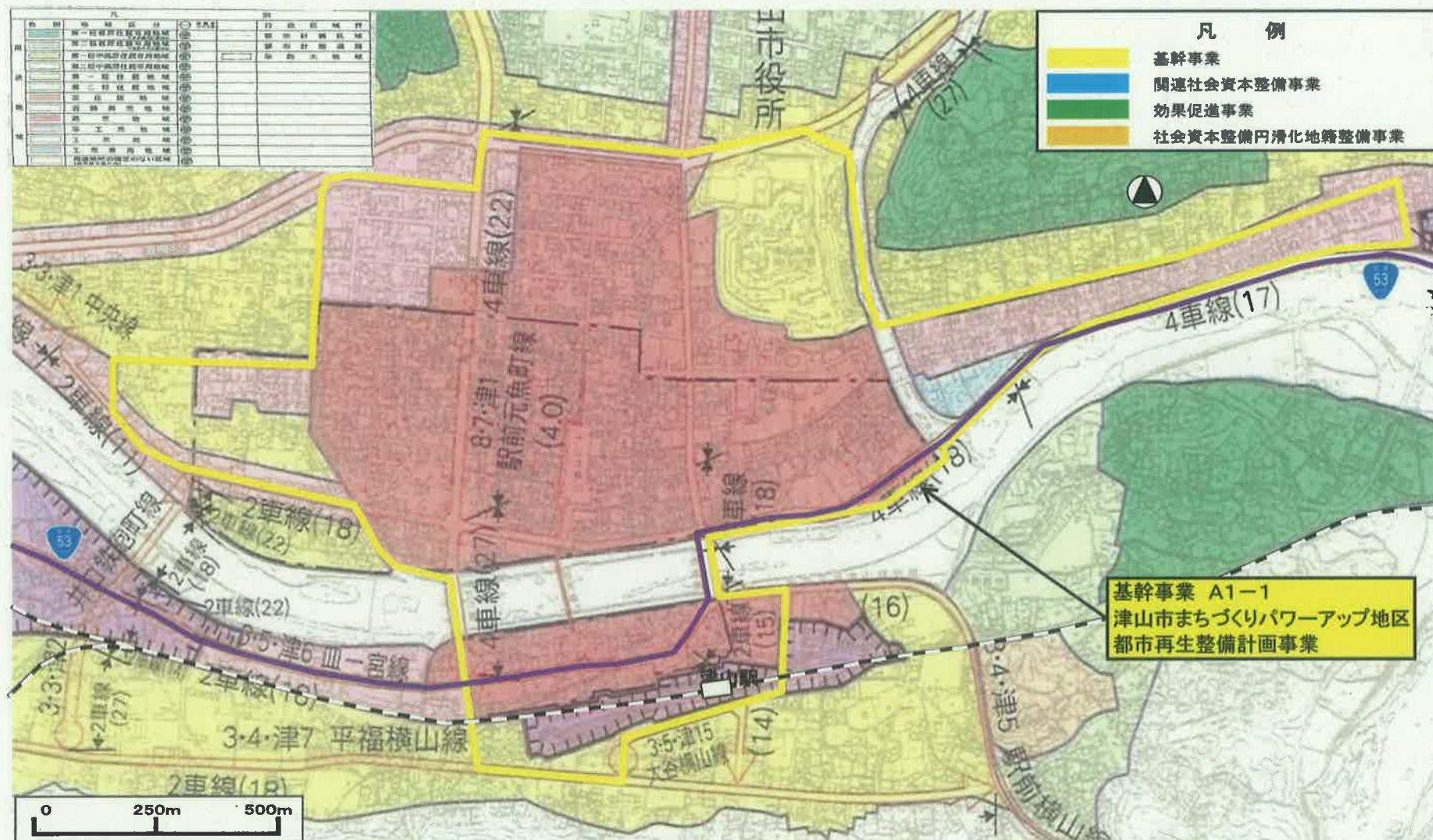
[illegible]

III. 計画の実現可能性

III. 計画の実現可能性

社会資本総合整備計画（市街地整備） 参考図面

計画の名称	「暮らし、ほんもの」津山市中心部のまちづくり		
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）	交付団体	津山市



都市再生整備計画(第1回変更)

つやまし 津山市まちづくりパワーアップ地区^{ちく}

おかやまけん つやまし
岡山県 津山市

平成30年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岡山県	市町村名	津山市	地区名	津山市まちづくりパワーアップ地区	面積	141 ha
計画期間	平成29年度～平成33年度	交付期間	平成29年度～平成33年度				

目標	
大目標：交流拠点など都市機能の強化による賑わいのまちづくり	
目標1	県北の中心都市としての拠点性向上を目指したまちづくりを推進する。
目標2	誰もが安心して住みつけられるまちづくりを推進する。
目標3	津山の特色ある歴史遺産等を活かしたまちづくりを推進する。
目標設定の根拠	
まちづくりの経緯及び現況	
津山市は、城下町特有の都市構造を今に残し、津山城跡など歴史的価値の高い建造物など、築城以来の多くの歴史的建造物や近代化遺産が、中心市街地を中心に広く分布し、歴史的な資源や伝統文化が保存・継承され、これらが相まって『津山らしさ』を醸し出している。岡山県観光地別観光客数によると、津山・鶴山公園地区（津山城跡）の観光客数は平成17年に約59万人であったのに対し、中心市街地再生地区（H16～H20）、城東周辺地区（H21～H23）、中心市街地再生地区（H24～H28）の都市再生整備計画事業や関連事業、B-1グランプリ「津山ホルモンうどん」等の効果により、平成26年には約118万人に増加している。 本地区は県北地域の中心都市であるが、中心市街地地区の人口は減少しており、空き家や空き店舗の増加など、中心市街地の求心力の低下や経済活動の空洞化等の問題を抱えている。この問題を解決するために、平成25年度から「津山市中心市街地活性化基本計画」を策定し、官民一体となって活性化に取り組んでおり、中心市街地再生地区都市再生整備計画事業（H24～H28）により、「津山駅北口広場」や防災機能を備えた「井口公園」整備等、都市基盤や公共公益施設を整備した結果、人口の年間社会動態の減少傾向に改善の兆しが見えているが、中心部の人の往来（歩行者自転車通行量）は依然減少傾向にある。 そこで、JR津山駅の南側市街地と都市機能を多く有する北側市街地の南北一体化や、既存施設の改修等により、県北地域の中心都市として、更なる広域交流拠点の形成を図るとともに、JR津山駅南地区にある、扇形機関車庫（津山まなびの鉄道館）など既存ストック等を生かした賑わいのあるまちづくりを推進することが重要となっている。	
課題	
人口が減少し、少子高齢化が進展する中で、人の往来を増やし中心市街地の求心力の向上を図り、持続可能な都市経営を営むために、都市基盤や公共公益施設などの整備をするとともに、有効活用を図り、高密度でコンパクトな都市づくりを図ることが課題である。 ① 県北地域の中心都市としての広域交流拠点を形成するため、都市機能の集積や整備等の取り組みが必要である。 ② 中心市街地の再構築、JR津山駅の南北一体化等による利便性・快適性の向上による魅力的な都市づくりが必要である。 ③ 歴史・近代化遺産等の既存ストック等による賑わいの創出が必要である。	
将来ビジョン（中長期）	
◇津山市第5次総合計画 基本構想（平成27年9月） 彩りあふれる花開く 津山の創造・・・市民一人ひとりの想いがかなう 夢と希望の花が咲き誇るまち 開花プログラム1：子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり 開花プログラム2：健やかで安心できる支え合いのまちづくり 開花プログラム3：雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり 開花プログラム4：豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり 開花プログラム5：災害への備えと都市機能の充実したまちづくり 持続可能なまちづくりを目指し、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方に基づき、都市機能の集約化や生活サービス機能の維持向上を図るとともに、地域資源や特性を活かしつつ、各地域の拠点を中心として、相互に連携・補完することができる「多極連携型のまちづくり」に取り組むこととしている。	

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
人口の年間社会動態	人/年	人口社会動態(転入・転出)を住民基本台帳から把握する。	まちづくりの推進により、暮らしやすさ、住みつけたいと感じれば、必然的に人口の社会動態の減少傾向は改善され、増加を見込む。	-6	平成27年度	10	平成33年度
歩行者自転車通行量	人/日	定期観測している歩行者及び自転車(10地点)の1日当たりの通行量を把握する。	中心部の拠点性の向上により、人の往来が集う賑わいを示す指標となり、事業により通行量の増加を見込む。	6,812	平成27年度	7,800	平成33年度
歴史文化関連施設利用者数	人/年	経年観測している歴史文化施設(9施設)の年間利用者数を把握する。	歴史文化資源を活かしたまちづくりにより、施設の利用者の増加を見込む。	272,493	平成27年度	310,000	平成33年度
JR津山駅の乗降客数	人/日	JR津山駅の乗降客数をJR西日本岡山支社の社内データの提供を受け、把握する。	駅周辺の整備による利便性・快適性の向上により、JR津山駅の乗降客の増加を見込む。	3,962	平成27年度	4,250	平成33年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【整備方針1】 人が集い賑わいを感じる「まち」 ・広域交通拠点である津山駅周辺を整備し、利便性・快適性の向上を図る。 ・中心市街地を再構築し、利便性・快適性の向上を図る。 ・観光客などの訪問者に対し、魅力的な都市機能の向上を図る。		【基幹事業】 「道路」市道B080号線、市道H080号線「公園」山下児童公園 「地域生活基盤施設(広場)」津山駅南口広場 「地域生活基盤施設(駐車場)」城東観光駐車場、城西観光駐車場 「地域生活基盤施設(駐輪場)」津山駅北口広場駐輪場、津山駅南口広場駐輪場 「地域生活基盤施設(立体遊歩道)」津山駅南北自由通路 「高質空間形成施設(緑化施設等)」市道H077、H169号線(カラー舗装) 「高質空間形成施設(歩行者支援施設等)」津山駅南口広場公衆トイレ 【提案事業】 「地域創造支援事業」南北自由通路内整備事業、道路側溝整備事業、津山駅前にぎわい交流館 「まちづくり活動支援事業」城下地区まちづくり再生支援事業、旧出雲街道賑わい再生支援事業
【整備方針2】 人が暮らしやすいと感じる「まち」 ・都市施設の拡充により、魅力的な都市づくりを促進させる。 ・中心市街地を再構築し、利便性・快適性の向上を図る。		【基幹事業】 「道路」市道B080号線、市道H080号線 「公園」山下児童公園 「地域生活基盤施設(広場)」津山駅南口広場 「地域生活基盤施設(駐輪場)」津山駅北口広場駐輪場、津山駅南口広場駐輪場 「地域生活基盤施設(立体遊歩道)」津山駅南北自由通路 「高質空間形成施設(緑化施設等)」市道H077、H169号線(カラー舗装) 「高質空間形成施設(歩行者支援施設等)」津山駅南口広場公衆トイレ 「既存建物活用事業(高次都市施設)」津山文化センター 【提案事業】 「地域創造支援事業」南北自由通路内整備事業、道路側溝整備事業、津山駅前にぎわい交流館 「まちづくり活動支援事業」城下地区まちづくり再生支援事業、旧出雲街道賑わい再生支援事業
【整備方針3】 歴史文化を感じる「まち」、楽しむ「まち」 ・市民や観光客が津山の歴史文化を気楽に感じ楽しめる都市づくりを推進させる。 ・歴史文化施設の拡充により、魅力的な都市づくりを促進させる。 ・憩い・安らぎ空間を確保し、自然と共生する都市づくりを促進させる。		【基幹事業】 「公園」山下児童公園 「地域生活基盤施設(駐車場)」城東観光駐車場、城西観光駐車場 「高質空間形成施設(緑化施設等)」市道H077、H169号線(カラー舗装) 「既存建物活用事業(高次都市施設)」津山文化センター 【提案事業】 「地域創造支援事業」道路側溝整備事業、津山駅前にぎわい交流館
その他 ○交付期間中の住民参加 現在、吉井川南岸地区においては、周辺町内会及び関係商店街を中心とする「津山駅周辺の街づくりのあり方を考える」住民の会”(以下「住民の会」という。)を地元が組織している。 住民の会を中心として、市民参加型の津山駅周辺の整備に向けた具体的な計画策定を進めている。 将来に渡って持続的にまちづくりを推進するため、組織体の連携強化を図る検討を進めている。 また、中心市街地活性化基本計画のエリア内では、関係町内会及び関係機関で組織する「津山市中心市街地活性化協議会(以下「協議会」という。)を組織している。 協議会を中心として、中心市街地の賑わいの整備に向けた具体的な計画策定を進めている。 将来に渡って持続的にまちづくりを推進するため、組織体の連携強化を図る検討を進めている。 なお、本地区において、美術館整備を予定しており、関係団体を中心とする「美術館構想審議会」を市の付属機関として組織している。 実施に当たっては、市民参加型の審議会に拡充再編し、具体的な計画策定を進めていく。 ○交付期間中の計画管理について 現在、庁内内部の関係部局による横断的な組織として「津山駅周辺地区整備検討会」を組織し、計画立案を行っている。 交付期間中における事業実施、調整及び目標達成過程の数値確認については、その組織を改変し、「計画管理委員会」とし、対応を図る。 また、関係外部組織との連携によるモニタリングを実施し、円滑な事業推進を図る。 なお、これらの事業実施状況や数値目標の達成状況、モニタリングの結果などについては、市のホームページ等を利用し、随時市民に公表する。		

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	3,515	交付限度額	1,406.0	国費率	0.40
---------	-------	-------	---------	-----	------

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B／C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	道路		市道B080号線(二階町)	津山市	直	L＝140m	H29	H33	H29	H33	300	300	300		300	－
	道路		市道H080号線(南町一丁目)	津山市	直	L＝42m	H29	H29	H29	H29	25	25	25		25	－
	公園		山下児童公園	津山市	直	A＝0.3ha	H30	H32	H30	H32	188	188	188		188	－
	古都保存・緑地保全等事業															
	河川															
	下水道															
	駐車場有効利用システム															
	地域生活基盤施設		津山駅南口広場	津山市	直	A≒2,000㎡	H31	H33	H31	H33	463	463	463		463	－
	地域生活基盤施設		城東観光駐車場	津山市	直	A≒1,350㎡	H31	H33	H31	H33	319	319	319		79	－
	地域生活基盤施設		城西観光駐車場	津山市	直	A＝930㎡	H32	H33	H32	H33	180	180	180		45	－
	地域生活基盤施設		津山駅北口広場駐輪場	津山市	直	A＝740㎡	H31	H33	H31	H33	31	31	31		31	－
	地域生活基盤施設		津山駅南口広場駐輪場	津山市	直	A＝250㎡	H31	H33	H31	H33	38	38	38		38	－
	地域生活基盤施設		津山駅南北自由通路	津山市	直	L＝60m	H31	H33	H31	H33	940	940	940		940	－
	高質空間形成施設		市道H077号線(カラー舗装)	津山市	直	L＝90m	H32	H32	H32	H32	11	11	11		11	－
	高質空間形成施設		市道H169号線(カラー舗装)	津山市	直	L＝85m	H33	H33	H33	H33	12	12	12		12	－
	高質空間形成施設		津山駅南口広場公衆トイレ	津山市	直	A＝100㎡	H31	H33	H31	H33	35	35	35		35	－
	高次都市施設															
	中心拠点誘導施設															
	連携生活拠点誘導施設															
	生活拠点誘導施設															
	高齢者交流拠点誘導施設															
	既存建造物活用事業(高次都市施設)		津山文化センター	津山市	直	－	H29	H31	H29	H31	1,200	1,200	1,200		1,200	－
	土地区画整理事業															
	市街地再開発事業															
	住宅街区整備事業															
	バリアフリー環境整備事業															
	優良建築物等整備事業															
	住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型														
	街なみ環境整備事業															
	住宅地区改良事業等															
	都心共同住宅供給事業															
	公営住宅等整備															
	都市再生住宅等整備															
	防災街区整備事業															
	合計										3,742	3,742	3,742	0	3,367	…A

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付対象		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業	南北自由通路内整備事業	駅周辺地区	津山市	直	L=60m	H31	H33	H31	H33	25	25	25		25
	道路側溝整備事業	中心商店街、駅周辺地区	津山市	直	L=900m	H29	H33	H29	H33	52	52	52		52
	津山駅前にぎわい交流館 整備事業	駅周辺地区	津山市	直	A=127.5m2	H29	H29	H29	H29	55	55	55		55
事業活用調 査	事業活用調査	—	津山市	直	—	H31	H33	H31	H33	6	6	6		6
まちづくり活 動推進事業	城下地区まちづくり再生支援事業	中心商店街	津山市	直	—	H29	H30	H29	H30	4	4	4		4
	旧出雲街道賑わい再生支援事業	旧出雲街道沿線	津山市	直	—	H31	H32	H31	H32	6	6	6		6
合計										148	148	148	0	148
													合計(A+B)	3,515

[illegible]

津山市まちづくりパワーアップ地区(岡山県津山市) 整備方針概要図

目 標	交流拠点などの都市機能の強化による賑わいのまちづくり	代表的な指標	人口の年間社会動態（人/年）	-6	(H27年度)	→	10	(H33年度)
			歩行者自転車通行量（人/日）	6,812	(H27年度)	→	7,800	(H33年度)
			歴史文化施設利用者数（人/年）	272,493	(H27年度)	→	310,000	(H33年度)
			JR津山駅の乗降客数（人/日）	3,962	(H27年度)	→	4,250	(H33年度)

